

第1章 はじめに

1 経営戦略の改定の背景と目的

鹿沼市(以下、「本市」という)の水道事業は、昭和27年に事業認可を受け事業を開始して以来、市勢の発展に伴う給水量の増加に対応するため、6次にわたる拡張事業を実施し、安全で良質な水の安定供給に努めてきました。

しかし、年々増加する老朽化施設への対応や、水道施設の耐震化を含めた危機管理対策強化の必要性が高まる中、本市の人口は減少しており、それに伴い水道料金収入も減少しています。

このような状況を踏まえ、本市では、平成30年3月に水道事業の目指すべき方向性を明らかにし、将来像や取り組むべき課題に対する施策等を示した「鹿沼市水道ビジョン」を策定し、併せて、平成30年度から令和9年度を計画期間とし、中長期的な経営の基本計画である「鹿沼市水道事業経営戦略(以下「本経営戦略」という。)」を策定し、事業を推進してきました。

その間、新型コロナウイルス感染症の影響や物価上昇などによる社会経済情勢の変化に加え、地震など自然災害への備えが益々重要性を増しており、水道事業経営に多大な影響を与えています。

これら急激な社会情勢等の変化に対応するため、本経営戦略の見直しが必要であり、総務省からも『「経営戦略」の改定推進について』(令和4年1月25日付総務省自治財政局公営企業三課室長通知)において、経営戦略の改定を通じ、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を図ることが求められていることから、これまでの事業進捗状況の検証等を踏まえ、計画期間の途中ではありますが、「鹿沼市水道事業経営戦略(令和8年度改定版)」として改定することとしました。

2 計画期間について

中長期的な視点から経営基盤の強化等に取り組むことができるよう、本経営戦略の計画期間は、新たに令和8年度から令和17年度までの10年間とします。

計画期間中は、事業の進捗状況の点検・評価を毎年度行い、策定から5年後を目途に見直しを行います。

■ 図1 経営戦略計画期間

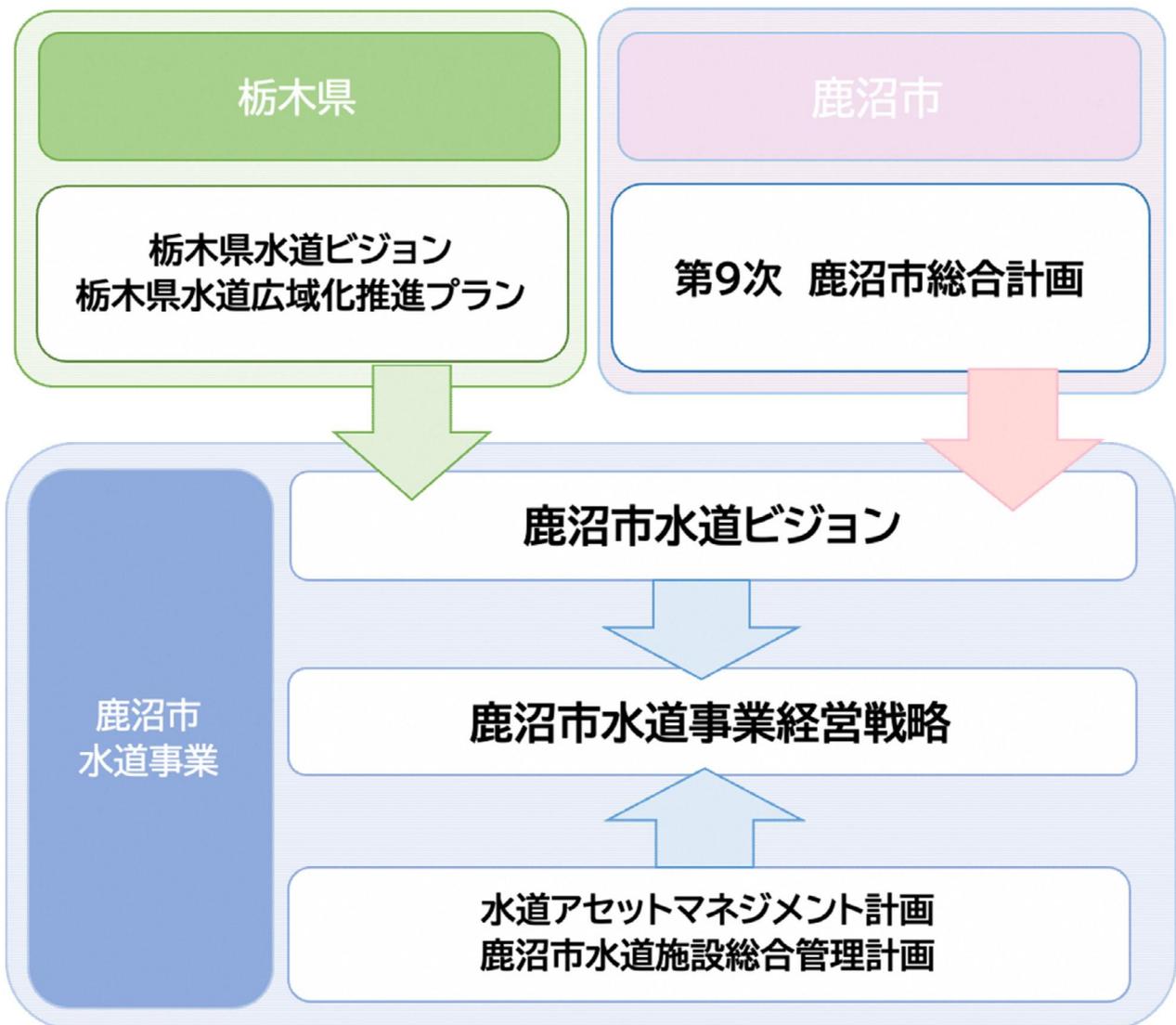
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度	
経営戦略																			
				前回策定								今回改定							
	公表							見直し	公表				見直し	公表				見直し	

3. 本経営戦略の位置付け

本市水道事業の主な施策は、最上位計画である「第9次鹿沼市総合計画」に基づいており、本経営戦略は、総合計画に掲げる本市の将来都市像を実現するための経営計画として位置付けています。

なお、本経営戦略においても、他の最新の施策・計画等との整合を図ります。

■図2 本経営戦略の位置付け



4. 経営戦略の要旨

本経営戦略では、水道資産の現状分析を基にした長期的な需要の見通しや更新等の投資計画を策定し、これらにおいて経営の悪化が想定される場合には、料金改定等の検討を行い、中長期的な経営方針を定め、「投資・財政計画」を策定します。

「投資・財政計画」の策定に当たっては、「投資試算」及び「財源試算」による将来予測を行い、現時点で反映可能な経営健全化や財源確保に係る取組を踏まえて試算を行います。その上で、将来の料金収入の減少・更新需要の増大を見据えた料金水準の適正化、投資のあり方等を複合的に検討し、具体的なシミュレーションを作成します。

■ 図3 「投資・財政計画」の策定までの流れ



※総務省「経営戦略策定・改定マニュアル」より